

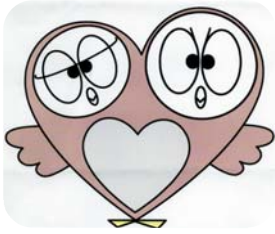
池田ひろ一 活動報告

平成25年12月

発行

北区議会自由民主党議員団

北区王子本町1-15-22
北区役所(3908)1111番(代)
議員団控え室(内線)3011・3021
FAX(3905)7650番



認知症疾患医療センター

平成二十四年度都内十二箇所設置されました。北区は「東京都健康長寿医療センター板橋区栄町三十五―二(三九六四)―一四一」が北区担当センターです。その業務には☆専門医療相談の実施☆認知症の診断と対応☆身体合併症・周辺症状への対応☆地域連携の推進☆専門医療、地域連携を支える人材の育成が挙げられます。認知症は残念ながら完治しない病気ですが、早期に診断されれば適切な医療・ケアで進行を抑えることができます。しかし、生活に支障が出るため日常的な支援が必要で、家族は気も休まらず、心身とも疲れながらも介護を続けざるを得ません。社会的支援だけでなく、親戚・友人・地域住民であるみなさんの理解と支えとかが大切です。一方社会的支援も大切に

あり、介護保険制度も介護の社会化でもあります。日本では北欧諸国が「福祉国家」の優等生として知られています。特にオランダは「大陸型福祉国家」という呼び名で知られています。しかし九月十七日二千十四年の政府予算案提出に伴う議会演説で「二十世紀後半の福祉国家は持続不能となっている」と訴えていた事をニュース記事で知りました。その中で「福祉国家はユックリと、しかし確実に「参加社会」へ変化している。可能なものは自分や身の回りの人々の生活の責任を担うことが求められる。」と言っています。高福祉国家の行き詰まりであり、「自助努力」のあり方を社会に提唱しています。日本においても多大な財源を必要とする社会保障のあり方について様々な議論がなされていますが、特に痛みを伴う議論は進みません。これからは行

政↓住民という構図でなく、今まで以上に住民↑住民の相互の助け合いなくして成り立たない社会が到来しています。その為にも区が推進するみまもり事業等が大切になってきます

赤羽北一丁目不発弾の処理結果

七月に発見された不発弾は、平成二十五年十一月十七日に警察・消防・陸上自衛隊等関係機関との連携で不発弾処理が無事終了しました。午前八時住民避難開始、午前九時三十分警戒区域設定以後立ち入りを制限、午前十一時六分警戒地域の無人化確認後不発弾処理開始、午前十一時二十一分処理完了その後安全宣言、警戒区域が解除されました。避難対象者約七千名のところ、避難所使用者 二百七名でした。

ひとり言

今年の漢字は「輪」でありました。夏季オリンピック東京招致へ向けての協力、フイリピン台風被害への力強い支援の輪、未だ復興途上の東北大震

災へのたゆまぬ支援の輪等々、日本国内に大きな支援の「輪」が広がった年でもありました。今年で「輪」の大切さ・力強さを思い知らされた。少子・高齢化の急激な進展に伴い最後には住民相互支援の「輪」が

今まで以上に必要とせざるを得ない日本になると思います。母親に耳にタコができるほど言われた「上みちやきりなし、下みちやきりなし」その時々に対応する生活を柔軟に改め

ひとりで悩むその前に・・・まず電話！

教育・福祉・生活相談は池田ひろ一事務所へ

北区赤羽北 1 - 3 - 1

tel 3907-0669 fax 3907-0943

ホームページ <http://www.ikedahiroichi.jp/>

Eメール fukurou@ikedahiroichi.jp

赤羽会館耐震工事

昭和五十七年七月に開設された同会館は三十年が経過し、経年劣化もあり耐震性も乏しく平成二十六年四月（平成二十七年四月下旬）にかけ耐震補強工事が行われます。その間、同会館管理事務所・同障害者相談係・同赤羽あんしんセンター」と赤羽図書館事務所が旧赤羽中学校に移転になります。※赤羽図書館機能は閉鎖となり、返本のみは受けることとなります。旧赤羽中学校特別教室等が一部集会施設として貸し出しされます。利用団体の制限があります。利用に際して詳しくは地域振興室に問い合せてください。利用期間は、平成二十六年五月十二日～平成二十七年四月三十日までの予定です。



旧北園小学校跡地に特養設置へ

特別養護老人ホーム浮間さくら荘廃止に伴う入所者の移転先施設にもなります。新ホーム運営事業者が決定した後、敷地の約三千八百平方メートルを定期借地権契約により提供し事業者が特別養護老人ホーム（定員

百六十名）、認可保育所（定員百名）を設置・運営することになります。開設予定は平成二十九年四月です。私は平成十八年より浮間さくら荘の改築（浴室の改修、脱衣場の改善、エレベーターの増設、建て替え等）を求め活動を展開してきました。

浴室の改修・脱衣場の改善はなされましたが、エレベーターの増設は躯体工事になり、躯体工事を行うと部屋ユニット化等規制が働き、従来室数の確保ができず入所定員減ともなる為様々な検討の結果新たな施設の適地として旧北園小学校跡地に新設することになりました。この間多くの方々より貴重なご意見を頂きありがとうございました。廃止される浮間さくら荘跡地の処分については今後の検討課題となります。

豊島四丁目地区土壌汚染

追加調査実施



現在ダイオキシン類汚染をめぐる、都市再生機構と前所有者の日油（株）との間で訴訟となっていますが、今回裁判所の意見もあり、日油（株）及び都市再生機構で改めて全域のダイオキシン類の汚染状況を把握する

ため、追加調査がなされる事となりました。

調査対象地 豊島四丁目一番四十他
調査期間 平成二十五年十二月～平成二十六年三月（予定）

空き家

空き家の増加が大きな社会問題化しています。空き家の放置は老朽化による倒壊性が高まり、景観や環境の悪化につながります。またゴミの不法投棄なども助長し、しいては侵入し放火などの重大犯罪をも誘発することとなります。それだけに自分の住まい近くの空き家住宅の状況に気を配る必要があります。

二千八年の全国の空家は約七百五十万戸で、総住宅数に占める割合は十三・一％にもなっています。仄聞します。空き家問題は従来過疎地で顕在化していましたが、いまや都市においても少子・高齢化に伴い空き家が増加しています。近所に空き家を確認できても、直ちに空き家対策に有効な手段がないのも現実です。空き家までに至る経過、撤去もしない状況に様々な理由が存在していることと思えますが、近所にとり大変迷惑な問題です。皆様も身の回りの空き家状況の把握をしてみませんか。そして皆様と空き家対策について一緒に考えてみませんか。ご意見等がありましたらぜひご一報ください。

首都直下型地震

先日東京都心南部を震源とするマグネチュード七・八級の被害想定が発表された。震源が荒川河口付近でマグネチュード六・九と推定されている「安政江戸地震」を上回るマグネチュードで、死者最大約二万三千人との被害想定が発表されました。都心は震度六以上の揺れに襲われると推定されており、北区でも多大な被害が想定されます。確率の上下はあっても国内どこでも強く揺れる可能性があると思えますが、特に東京では三十年以内に震度六以上の地震が発生する確率は七十％とも言われていますし、今あっても不思議でないとも言われています。完全な防災を構築できない以上、一人一人が地震と向き合い自身で対策することが減災に繋がると思っています。

介護中の方へ

「特別障害控除について」
認知症の方を扶養している方は、「特別障害控除」を受けられる場合があります。ご本人が入院中でも受けられます。最寄りの福祉事務所、または高齢福祉課などにお問い合わせのうえ、「障害者控除対象者認定書」をもらってください。お勤めの方は、年末調整の時に勤務先に提出するか、確定申告で手続きができます。自営業者や年金生活者の方は、確定申告で手続きができます。